

平成 25 年度

「運営に関する計画・自己評価(最終評価)」
及び「学校関係者評価報告書」

大阪市立阪南中学校

平成 26 年 3 月

大阪市立阪南中学校 平成 25 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

【視点 学力の向上】

○平成 27 年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする生徒の割合を、平成 24 年度より 5 ポイント以上増加させる。

- ・「学校の授業はわかりやすい」
- ・「先生は教え方をいろいろ工夫している」

(カリキュラム改革関連)

○平成 27 年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする保護者の割合を、毎年、前年度より向上させる。

- ・「学校の授業はわかりやすく工夫されている」
- ・「学校は生徒や保護者に学年に応じた適切な進路情報を提供している」

(ガバナンス改革関連)

○平成 27 年度の授業アンケート調査で、「授業を受けて、授業の内容がわかるようになりますか」の項目について、肯定的な回答（そう思う・だいたいそう思う）をする生徒の割合を、全学年で 70% 以上にする。

(マネジメント改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

○平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的な回答（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）をする生徒の割合を 80% 以上にする。

(カリキュラム改革関連)

○平成 27 年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする生徒の割合を、平成 24 年度より 5 ポイント以上増加させる。

- ・「あいさつや言葉づかいはきちんとできている」
- ・「学校のきまりを守り、公共物、私物を問わず大切にしている」
- ・「清掃活動に積極的に取り組んでいる」

(カリキュラム改革関連)

○平成 27 年度の本校アンケート調査で、次の各項目について、肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする保護者の割合を、毎年、前年度より向上させる。

- ・「阪中生は、全般的に落ち着いた学校生活を過ごしている」
- ・「学校では、人権尊重の立場に立った教育活動が行われている」
- ・「P T A と学校は、相互に協力し教育向上に努めようとしている」

(ガバナンス改革関連)

○毎年度末の調査において不登校生徒の割合を、毎年、前年度より減少させる。

(カリキュラム改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

○平成 27 年度の本校アンケート調査で、「病気の治療などに努め、健康を意識している」の項目について、肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）をする生徒の割合を、平成 24 年度より 5 ポイント以上増加させる。

(カリキュラム改革関連)

○平成 27 年度の本校アンケート調査で、「自分の子どもの心身の健康について、学校へ気軽に相談できる」の項目について、肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）をする保護者の割合を、平成 24 年度より 5 ポイント以上増加させる。

(カリキュラム改革関連)

○全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点の平均を毎年、前年度より向上させる。

(カリキュラム改革関連)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

○本年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする生徒の割合を、昨年度より2ポイント以上増加させる。

- ・「学校の授業はわかりやすい」
- ・「先生は教え方をいろいろ工夫している」

(カリキュラム改革関連)

○本年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする保護者の割合を、昨年度より向上させる。

- ・「学校の授業はわかりやすく工夫されている」
- ・「学校は生徒や保護者に学年に応じた適切な進路情報を提供している」

(ガバナンス改革関連)

○本年度の授業アンケート調査で、「授業を受けて、授業の内容がわかるようになっていますか」の項目について、肯定的な回答（そう思う・だいたいそう思う）をする生徒の割合を、全学年で60%以上にする。

(マネジメント改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

○平成26年度の全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的な回答（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）をする生徒の割合を75%以上にする。

(カリキュラム改革関連)

○本年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする生徒の割合を、昨年度より2ポイント以上増加させる。

- ・「あいさつや言葉づかいはきちんとできている」
- ・「学校のきまりを守り、公共物、私物を問わず大切にしている」
- ・「清掃活動に積極的に取り組んでいる」

(カリキュラム改革関連)

○本年度の本校アンケート調査で、次の各項目についての項目について、肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする保護者の割合を、昨年度より向上させる。

- ・「阪中生は、全般的に落ち着いた学校生活を過ごしている」
- ・「学校では、人権尊重の立場に立った教育活動が行われている」
- ・「P T Aと学校は、相互に協力し教育向上に努めようとしている」

(カリキュラム改革関連)

○本年度末の調査において不登校生徒の割合を、昨年度より減少させる。

(カリキュラム改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

○本年度の本校アンケート調査で、「病気の治療などに努め、健康を意識している」の項目について、肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）をする生徒の割合を、昨年度より2ポイント以上増加させる。

(カリキュラム改革関連)

○本年度の本校アンケート調査で、「自分の子どもの心身の健康について、学校へ気軽に相談できる」の項目について、肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）をする保護者の割合を、平成24年度より2ポイント以上増加させる。

(カリキュラム改革関連)

○全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点の平均を昨年度より向上させる。

(カリキュラム改革関連)

3 本年度の自己評価結果の総括

年度目標の達成状況は、概ね目標どおりに達成することができた。

○視点 学力の向上

学力向上をめざし、生徒にとって分かりやすく、興味関心を持って集中できるような授業の工夫、改善を図ることはできた。次年度に向け、学力向上委員会を中心に、授業評価も含め保護者にも分かりやすい学力向上をさらに図っていく。

○視点 道徳心・社会性の育成

あいさつや言葉づかい、学校のきまりを守る等の規範意識は育ってきている。学校行事や学年行事の取組、委員会活動や特別活動により、自分にはよいところがあると思う（自尊感情）生徒の割合は高いが、更に高められるよう取り組んでいく。

○視点 健康・体力の保持増進

授業・体育的行事・部活動を通して、運動に関わる環境づくりに努めることで、健康や運動に関しての意識は高められた。今後も、体力向上・運動能力向上に向け取り組んでいく。

1年生の給食の全員喫食に向け、食育について全体計画を見直し計画的に実施していく。

大阪市立阪南中学校 平成25年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった			
年度目標	達成状況		
【視点 学力の向上】			
○本年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする生徒の割合を、昨年度より2ポイント以上増加させる。			
・「学校の授業はわかりやすい」			
・「先生は教え方をいろいろ工夫している」	(カリキュラム改革関連)		
○本年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする保護者の割合を、昨年度より向上させる。			
・「学校の授業はわかりやすく工夫されている」	(カリキュラム改革関連)		
・「学校は生徒や保護者に学年に応じた適切な進路情報を提供している」	(ガバナンス改革関連)		
○本年度の授業アンケート調査で、「授業を受けて、授業の内容がわかるようになりますか」の項目について、肯定的な回答（そう思う・だいたいそう思う）をする生徒の割合を、全学年で60%以上にする。	(マネジメント改革関連)		

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【習熟度別少人数授業の充実】 生徒の学力・学習意欲を向上させる教科指導のあり方や、指導内容の工夫改善に努め、個に応じた指導の充実を図る。	C
指標 国語、数学、英語において、TTや習熟度別授業を実施計画どおりに行う。	
取組内容②【言語力や論理的思考能力の育成】 各教科で、多様な言語活動を開催するとともに、朝学活時の読書週間や図書室開放により、言語力の育成を図る。	B
指標 11月に読書週間を設定、図書室を昼休みに毎日開放する。	
取組内容③【ICTを活用した教育の推進】 ICT機器を活用した授業に取り組み、研究・研修を行う。	C
指標 ICTを活用した授業を年間10時間以上実施する。	
取組内容④【環境を守る意識の醸成】 学校前の道路（グリーンロード）を拠点として、環境に関する取組みを行う。	B
指標 創作カルタ、植栽等、計画どおり実施する。	

取組内容⑤【授業研究を伴う校内研修の充実】	B
研究授業を行い、参観後のチェックシートを活用した協議を充実させることにより、指導力の向上に取り組む。	
指標 年間 10 回以上の研究授業を行う。	
取組内容⑥【家庭・地域との連携の推進】	A
学校の様子を積極的に発信する。	
指標 校長室だより、学年だより等を定期的に発行する。 学校ホームページを毎月 1 回以上更新する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標について】	
○授業はわかりやすい・教え方を工夫していると回答した生徒の割合は、昨年度と変わらなかつた。	
○適切な進路情報を提供していると回答した保護者の割合は、昨年と変わらなかつたが、授業はわかりやすく工夫されているとの回答は低くなつた。	
○授業の内容がわかると回答した生徒の割合は 80 % であった。	
【取組内容について】	
①指導内容の工夫改善を十分図れなかつた。	
②図書委員を中心に昼休みに図書館を開放した。2 学期に読書週間を設け、朝の読書にを取り組んだ。	
③ I C T 機器を活用した授業が十分に実施できなかつた。	
④環境等をテーマに絵札と読み札を作製したパネルを学校前の道路（グリーンロード）へ掲示し、環境等の情報発信を行つた。	
⑤初任・2・5・10 年次教員の研究授業を行い、チェックシートを用いて研究協議を行つた。	
⑥校長室だよりは第 13 号を発行し、ホームページで学校・学年行事等の様子を保護者・地域等へ情報発信を行つた。	
次年度への改善点	
○学力向上委員会を中心にして、授業方法の研究等を行い授業改善を図る。また、校内研修を充実させ教員の授業力の向上を目指す。	
○家庭学習の習慣が身についていないことが課題としてあげられる。	
○ I C T 環境を充実させ、機器を活用した授業を増やす。	
○学校ホームページを利用した情報発信の更新回数を増やすことに継続して努める。	

(様式2)

大阪市立阪南中学校 平成25年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>○平成26年度の全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的な回答（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）をする生徒の割合を75%以上にする。 ○本年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする生徒の割合を、昨年度より2ポイント以上増加させる。 •「あいさつや言葉づかいはきちんとできている」 •「学校のきまりを守り、公共物、私物を問わず大切にしている」 •「清掃活動に積極的に取り組んでいる」 ○本年度の本校アンケート調査で、次の各項目についての項目について、肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする保護者の割合を、昨年度より向上させる。 •「阪中生は、全般的に落ち着いた学校生活を過ごしている」（カリキュラム改革関連） •「学校では、人権尊重の立場に立った教育活動が行われている」（カリキュラム改革関連） •「P T Aと学校は、相互に協力し教育向上に努めようとしている」（ガバナンス改革関連） ○本年度末の調査において不登校生徒の割合を、昨年度より減少させる。 （カリキュラム改革関連）</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【道徳教育の推進】 副教材や心のノートを活用するとともに、体験的な活動を通して生徒が豊かな感性や情操をはぐくみ、基本的な道徳心・規範意識を培う。	B
指標 年間指導計画に基づき、各学年の状況に応じて取り組む。	
取組内容②【人権を尊重する教育の推進】 互いに違いを認め合い、共に生きる力を育てるため、「人権教育・啓発推進計画」に基づき取組みを推進する。	B
指標 年間指導計画に基づき、各学年の状況に応じて取り組む。	
取組内容③【特別支援教育の充実】 通常学級に在籍する支援を要する生徒の状況について、全教職員で理解を深め、支援策を考える。	B
指標 生徒状況の冊子を作成し、校内研修を2回実施する。	

取組内容④【いじめ、不登校への対応】	子どもに寄り添う指導を行い生徒理解に努めるとともに、家庭との連携を密にして対応する。	B
指標	学期に1回の教育相談週間を設ける。	
取組内容⑤【防災教育の推進】	「警備及び防災の計画」「安全対策マニュアル」に基づき、災害時に備えた訓練を行い、学校の危機管理体制を機能させる。	B
指標	6月に通常の避難訓練、11月に防災研修（1年）、消防署・区役所・地域の協力を得て防災訓練（2年）を実施する。	
取組内容⑥【美化・環境整備】	安心・安全な学校づくりに向け、環境整備を行うとともに、生徒の美化意識の向上に努める。	B
指標	施設・設備について毎月点検を行う。 学期ごとに大清掃、油引きを行う。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標について】	
○自分にはよいところがあると思う生徒の割合は、約75%であった。	
○本校アンケートで、各項目での生徒の割合が、昨年度と同様であった。	
○本校アンケートで、各項目での保護者の割合が、昨年度より低かった。	
○不登校生徒の割合が、昨年度より減少した。	
【取組内容について】	
①②各学年の状況に応じて、副教材や自主教材等を利用し取り組んだ。	
③学期ごとの委員会や校内研修会を実施し、教職員全体で共通理解を図った。	
④1、2学期に放課後の時間を使用して教育相談を実施した。子どもを知ることで信頼関係を築くことができた。	
⑤6月に避難訓練と地震津波訓練を実施した。毎週の全校集会から避難経路を通って移動・集合をしているため、迅速に行動ができた。また、1年で防災研修、2年で防災訓練を実施した。	
⑥管理作業員、健康教育部が中心となり定期的に施設・設備の点検を行った。終業式の日に全校で大清掃を行った。	
次年度への改善点	
○道徳教育及び人権教育について、道徳・人権教育委員会を中心に年間計画・全体指導計画を見直し、計画的に実施できるようにする。	
○学校いじめ防止基本方針を策定するとともに、学期ごとの教育相談だけでなく、日々においていじめの未然防止・早期発見に継続して取り組む。	

大阪市立阪南中学校 平成25年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた
---	--

年度目標	達成状況
<p>【視点 健康・体力の保持増進】</p> <p>○本年度の本校アンケート調査で、「病気の治療などに努め、健康を意識している」の項目について、肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）をする生徒の割合を、昨年度より2ポイント以上増加させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○本年度の本校アンケート調査で、「自分の子どもの心身の健康について、学校へ気軽に相談できる」の項目について、肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）をする保護者の割合を、平成24年度より2ポイント以上増加させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点の平均を昨年度より向上させる。 (カリキュラム改革関連)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【体育的活動の充実】</p> <p>体育大会を充実させるとともに、各学年で体力づくりのため、スポーツ大会の取組みを行う。</p>	B
<p>指標 学年の取組みとして、球技大会やマラソン大会を実施する。</p>	
<p>取組内容②【健康な生活習慣の確立】</p> <p>各健康への関心を高めるような情報提供や啓発活動を行う。</p>	B
<p>指標 定期健康診断等の機会を利用し、情報提供を行う。</p> <p>毎月の生徒環境委員会による、ポスター作りを行う。</p>	
<p>取組内容③【健康に関する現代的な課題への対応】</p> <p>自己の心身の発達と変化を理解し、健康に対して正しい知識を身に付けさせる。</p>	B
<p>指標 警察署と連携し、薬物乱用防止教室を実施する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【年度目標について】

- 健康を意識している生徒の割合が、昨年度より 2 ポイント以上増加することができた。
- 自分の子どもの心身の健康について、学校へ気軽に相談できる保護者の割合が、昨年度より減少した。
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点の平均が、男子は昨年度より高くなつたが、女子は低くなった。

【取組内容について】

- ①体育大会、マラソン大会、球技大会等の体育的行事の充実が図れた。
- ②食育つうしんを発行し、食育への意識の向上を図った。環境委員が食育啓発ポスター等の啓発ポスターを作成した。
- ③2 年生対象に薬物乱用教室を実施した。

次年度への改善点

- 定期健康診断等の機会を利用し、生徒・保護者への健康への関心を高めるための情報の提供と啓発に取り組む。
- 生徒が意欲的に授業や体力づくりに取り組めるよう指導の充実を図る。また、運動をするきっかけとなるような取り組みを計画・実施する。

平成 25 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立阪南中学校 学校協議会

1 総括についての評価

- ・本年度の学校の自己評価結果はおおむね妥当である。
- ・生徒アンケート、保護者アンケート、教職員アンケートはとても分かりやすく良かった。また、その集計結果から、各視点における学校の取り組みが、教職員全体で対応していくこうという姿勢を感じることができた。
- ・生徒の 88 %が「学校生活は楽しく充実している」と回答している。また、「子どもは、学校生活を楽しんでいる」と 92 %の保護者がそう感じている。総合的にみて、生徒・保護者ともに阪南中学校の教育活動に満足していると判断できる。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：学力の向上

○本年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする生徒の割合を、昨年度より 2 ポイント以上増加させる。

- ・「学校の授業はわかりやすい」
- ・「先生は教え方をいろいろ工夫している」 (カリキュラム改革関連)

○本年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする保護者の割合を、昨年度より向上させる。

- ・「学校の授業はわかりやすく工夫されている」 (カリキュラム改革関連)
- ・「学校は生徒や保護者に学年に応じた適切な進路情報を提供している」 (ガバナンス改革関連)

○本年度の授業アンケート調査で、「授業を受けて、授業の内容がわかるようになっていますか」の項目について、肯定的な回答（そう思う・だいたいそう思う）をする生徒の割合を、全学年で 60% 以上にする。 (マネジメント改革関連)

- ・全国学力調査や英語能力テスト等は非常に高い結果である。「授業はわかりやすい」の項目に肯定的な回答が 80 % を超えており、今後も更なる学力の向上を目指してもらいたい。
- ・教職員アンケートにおける、習熟度別授業等の充実・ICT 機器を活用した授業の充実において、他と比べると評価が低くなっている。今後、個に応じた授業の充実と ICT 機器を活用した授業の工夫に期待したい。

年度目標：道徳心・社会性の育成

○平成 26 年度の全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的な回答（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）をする生徒の割合を 75% 以上にする。 (カリキュラム改革関連)

○本年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする生徒の割合を、昨年度より 2 ポイント以上増加させる。

- ・「あいさつや言葉づかいはきちんとできている」
- ・「学校のきまりを守り、公共物、私物を問わず大切にしている」
- ・「清掃活動に積極的に取り組んでいる」 (カリキュラム改革関連)

○本年度の本校アンケート調査で、次の各項目についての項目について、肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする保護者の割合を、昨年度より向上させる。

<ul style="list-style-type: none"> ・「阪中生は、全般的に落ち着いた学校生活を過ごしている」 (カリキュラム改革関連) ・「学校では、人権尊重の立場に立った教育活動が行われている」 (カリキュラム改革関連) ・「PTAと学校は、相互に協力し教育向上に努めようとしている」 (ガバナンス改革関連) <p>○本年度末の調査において不登校生徒の割合を、昨年度より減少させる。(カリキュラム改革関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、言葉づかい、規範意識等において、過去の学校の状況と比べても評価できる。部活後の下校時には少し課題がある。 ・集団としての秩序が保たれていることが、学力やいじめがないことに繋がっていると考えられる。 ・道徳教育・人権教育について、継続した取り組みを推進してもらいたい。
<p>年度目標：健康・体力の保持増進</p> <p>○本年度の本校アンケート調査で、「病気の治療などに努め、健康を意識している」の項目について、肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）をする生徒の割合を、昨年度より2ポイント以上増加させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○本年度の本校アンケート調査で、「自分の子どもの心身の健康について、学校へ気軽に相談できる」の項目について、肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）をする保護者の割合を、平成24年度より2ポイント以上増加させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点の平均を昨年度より向上させる。 (カリキュラム改革関連)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・全国体力・運動能力の体力合計は高いが、「運動をすることが得意」と回答している割合が低いことが気になる。ズバ抜けて能力の高い生徒と比べていることも、要因の一つにあると考えられる。 ・現在の社会問題でもある違法薬物等への指導にも、今後取り組んでほしい。

3 今後の学校運営についての意見

- ・体育大会・文化発表会や土曜授業に加え、学校ホームページ等により学校の様子は分かりやすくなつた。今後も、土曜授業等の学校公開やホームページで情報発信をお願いする。
- ・落ち着いた状況である、今だからするべきこと、子どもにつけさせたいことを、次年度以降、取り組んでいただきたい。
- ・今年度は初めてで手探りであったが、学校協議会として何ができるのかを検討する。